

読響ハートフル・コンサート 旭川

～読売日本交響楽団のメンバーによる弦楽四重奏～



【日程】 2026年6月30日(火)14:00開演～約60分

【会場】 市立旭川病院 外来棟1階 アトリウム

【プログラム】

- ♪モーツァルト／アイネ・クライネ・ナハトムジークから第1楽章
- ♪エルガー／愛の挨拶
- ♪ヴィヴァルディ／「四季」から“春”第1楽章
- ♪サン＝サーンス／組曲「動物の謝肉祭」から“白鳥”
- ♪久石譲／映画「となりのトトロ」から“さんぽ”
- ♪ハーライン／映画「ピノキオ」から“星に願いを”
- ♪いずみたく／見上げてごらん夜の星を
- ♪モンティ／チャルダッシュ
- ♪見岳章／川の流れのように (曲目・出演者は変更する可能性があります。)

出演メンバー

ヴァイオリン
寺井馨



ヴァイオリン
小田透



ヴィオラ
正田響子



チェロ
室野良史

■公益財団法人「正力厚生会」(<https://shourikikouseikai.or.jp/>)とは■

「がん患者やその家族への支援」を事業の中心に据えている正力厚生会は、読売新聞東京本社からの寄付金などをもとに、「がん患者団体への助成」「医療機関への助成」などを行っています。患者団体への助成では、延べ502団体に助成金を交付し、さまざまな活動に役立ててもらっています。

■「読響ハートフルコンサート」■

正力厚生会は2007年度から、公益財団法人読売日本交響楽団と共同で、がん患者の生活の質(QOL)向上の一環として、全国のがん診療連携拠点病院などで、弦楽四重奏を楽しんでもらう「読響ハートフルコンサート」を開催しています。今回の開催は通算117回目です。コンサートの模様は、開催翌日付の読売新聞に掲載されるほか、正力厚生会の公式HPでもご覧いただけます。

■公益財団法人「読売日本交響楽団」プロフィール■

読売日本交響楽団は1962年、オーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立されました。創立以来、著名な指揮者、ソリストと共演を重ねています。現在、名誉顧問に高宮宮妃久子殿下をお迎えし、東京・赤坂のサントリーホールや事業提携する池袋の東京芸術劇場などで充実した内容の演奏会を多数開催しています。海外での演奏活動も行っており、1967年の北米公演をはじめ、7度の欧州公演を経て、2024年のドイツ・イギリス公演などで読響の実力を海外にもアピールしてきました。2017年11月にはメシアンの歌劇「アッシュジの聖フランチェスコ」(全曲日本初演)が好評を博し、『音楽の友』誌の「コンサート・ベストテン」1位やサントリー音楽賞を受賞。2022年12月には、第77回文化庁芸術祭大賞を受賞しました。社会貢献事業として、公益財団法人「正力厚生会」のがん患者助成事業に協力する「ハートフル・コンサート」や小中学校での「フレンドシップ・コンサート」、地域貢献活動として「サロン・コンサート」などを開催し、音楽文化のすそ野拡大にも地道な努力を続けています。

演奏会などの様子は日本テレビ「読響 粗品と絶品クラシック」で放送されるほか、「TVer」などでも配信されています。

ふるさと

兎追ひし かの山
小鮒(こぶな)釣りし かの川
夢は今も めぐりて
忘れがたき 故郷(ふるさと)

如何(いか)にいます 父母
恙(つつが)なしや 友がき
雨に風に つけても
思ひ出(い)づる 故郷

志(こころざし)を はたして
いつの日にか 帰らん
山は青き 故郷
水は清き 故郷